

株主の皆様へ

第86期 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

TOMOKU

Packaging Innovation

証券コード 3946

株式会社トーモク



TOMOKU

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第86期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。



当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費の一部に足踏みが残るものの持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しております。雇用・所得環境が改善する一方、海外景気の下振れリスクや物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等依然として注視が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は105,061百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は3,147百万円（同1.4%増）、経常利益は3,060百万円（同14.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,915百万円（同13.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次ページに記載の通りでございます。

通期では連結売上高2,260億円、連結営業利益103億円、連結経常利益104億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき45円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解をいただき、より一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長執行役員 中橋 光男

セグメント別業績

段ボール

売上高 600億53百万円 (前年同期比0.9%増)
営業利益 40億51百万円 (同0.9%減)

段ボールの国内需要は、食料品を中心とした製品値上げによる消費者の節約志向の影響を受けたものの、前年並みとなりました。

当社グループの国内段ボール部門では、当社が主力とする加工食品の増加が寄与し、販売量は前年同期をやや上回りました。海外段ボール部門では、米国・ベトナムともに現地需要の獲得により、販売量は前年同期比で増加しました。なお、生産面においては、猛暑対策として主要工場に新たな空調設備を導入し、従業員の職場環境改善、安全の確保に努めております。

一方、期初より取り組んだ製品値上げについては、上半期収益への効果は限られたものとなりました。

住 宅

売上高 226億24百万円 (前年同期比4.1%増)
営業損失 12億66百万円 (前年同期は営業損失14億81百万円)

国内の新設住宅着工戸数は5月以降前年同月比で減少が続いております。

当社グループの住宅部門では、(株)スウェーデンハウスが高性能でワンस्पекの家づくりを基本に、高齢化社会に適合するコンパクトな住宅や若年層をターゲットとした住宅など、商品ラインアップを揃え多様なニーズに応えてまいりました。(株)玉善は、購買層のマインドに改善の兆しがみられ、販売物件の内覧者数が増加する動きを背景に、販売体制の強化とお客様のニーズにマッチした住宅の販売に取り組みました。

運輸倉庫

売上高 223億83百万円 (前年同期比5.9%増)
営業利益 8億45百万円 (同8.3%減)

当社グループの運輸倉庫部門は、大手小売業センター向け保管型物流センターの稼働や中部エリアにおける関東・関西間中継輸送の取組み開始が売り上げに寄与しました。また、猛暑の影響や備蓄需要の増加により取扱数量が増加しました。収益面では新規センター稼働に伴い一時的に準備コスト等が増加しました。

温室効果ガス排出量第三者保証取得

当社グループ2023年度の温室ガス (GHG) 排出量 (Scope1+2) を対象として、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン(株)より、ISO14064-3:2019に基づく限定的保証を取得しました。

2023年度のグループ全体の排出量 (Scope1+Scope2マーケット基準) は、CO₂換算で85,682トンとなり2013年度比約18%の削減となりました (単体では、再生可能エネルギー由来電力の導入等の活動により50%削減を達成しています)。



地域コミュニティへの貢献 (出張授業)

段ボール工場が所在する地域の小学校で、段ボールベッドに関する出張授業を実施しています。自然災害発生後に避難所で使用される段ボールベッドに着目した小学生の研究を支援する目的で、段ボールが作られる工程、段ボールベッドの機能や組立の授業を実施するとともに、市中にある段ボール箱を使って段ボールベッドを作る演習も行いました。



出張授業の様子

中間連結財務諸表（要旨）

●売上高	1,050億61百万円	(前年同期比	2.6%増)
●経常利益	30億60百万円	(同	14.0%減)
●親会社株主に帰属する 中間純利益	19億15百万円	(同	13.6%減)

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当中間連結会計期間末 (2024年9月30日現在)	前連結会計年度末（ご参考） (2024年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	89,544	93,759
固定資産	117,817	119,606
有形固定資産	94,608	96,350
無形固定資産	873	1,051
投資その他の資産	22,335	22,204
資産合計	207,362	213,366
負債の部		
流動負債	61,325	66,491
固定負債	56,370	57,671
負債合計	117,696	124,162
純資産の部		
株主資本	81,278	79,858
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,086	11,284
利益剰余金	60,667	59,090
自己株式	△ 4,145	△ 4,185
その他の包括利益累計額	7,763	8,765
非支配株主持分	624	579
純資産合計	89,665	89,203
負債純資産合計	207,362	213,366

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当中間連結会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売上高	105,061	102,367
売上原価	88,208	86,008
売上総利益	16,853	16,359
販売費及び一般管理費	13,706	13,255
営業利益	3,147	3,103
営業外収益	462	828
営業外費用	549	373
経常利益	3,060	3,559
特別損失	27	48
税金等調整前中間純利益	3,032	3,510
法人税、住民税及び事業税	1,295	1,551
法人税等調整額	△ 224	△ 290
中間純利益	1,962	2,250
非支配株主に帰属する中間純利益	46	32
親会社株主に帰属する中間純利益	1,915	2,217

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 https://www.tomoku.co.jp/ 但し事故その他やむを得ない事由によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 トーモク

TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル4階
TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825
<https://www.tomoku.co.jp/>

